

# “YES-I-DO”

(Y aizu, E arly S tage I ntervention for D iabetic nephropathy and O thers.)

“Yaizu”

☞ 吉田や藤枝等も含んだ焼津市立総合病院の診療圏内という意味

“and Others”

☞ 腎症のみならず心血管病変や糖尿病合併症全般の治療という意味

“Yes, I do.”

☞ 徹底した教育により

患者さん自らが取り組む姿勢を引き出すという意味を込めて

## 【目的】

早期の糖尿病性腎症を集学的に加療することによって腎症の改善や寛解をめざす。  
心血管イベントのリスクを早期に評価し、その発生を防ぐ。

## 【対象】

糖尿病性腎症の微量アルブミン尿期、顕性腎症前期を対象とします。

下記に該当する患者です。

- eGFR 45 以上（70 歳以上は 40 以上）60 未満
- HbA1c 6.5%以上
- 糖尿病歴が5年以上
- 尿中アルブミン・クレアチニン比 30mg/g・Cr 以上

## 【内容】

- 糖尿病性腎症としての診断の確立
- 糖尿病性腎症の現状評価、食事内容の評価（蓄尿での塩分・蛋白摂取量評価）
- 動脈硬化病変の評価（IMT, PWV 等）
- 血圧・血糖・脂質管理の徹底（食事指導、自己血圧測定指導）
- 尿蛋白（アルブミン尿）の定量評価（蓄尿）と経時的な観察

## 【方法】

地域医療連携室へ専用紹介状をFAXしていただき予約をお取りください。

外来クリニカルパスを用いて、通院2～3回、1か月以内をめどに検査、診察、指導を行い、結果をまとめて紹介していただいた先生にご報告致します。

患者の状態に合わせて、半年又は1年毎に検査、各種指導を繰り返し行ないます。YES-I-DOでは薬の処方致しません。

必要時にはご報告書にコメントの形でご相談させていただきます。